

## 第94回メーデーと憲法集会

# 憲法に基づき戦争のない 豊かな労働者・市民の社会をつくろう！

## 4年ぶり コロナ禍前に戻り第94回メーデーを開催 「物価高上回る賃上げ」、「大軍拡・大增税ノー、戦争反対」を掲げて

5月1日、晴れ。4年ぶりにコロナ禍前に戻って、大々的に第94回メーデーが代々木公園で開催された。そこで、10時集合ではあるが、8時過ぎには会場に着く。

会場は、まだまばらである。会場のサッカー場は、人工芝が張られたばかりで、緑濃く鮮やかである。

千代田区労協は、毎年のメーデーに千代田実行委員会として参加している。その主体は、千代田区職労である。

既に会場には、区職労出身の小泉常幹がいつもの場所(中央ステージに向かって右)にシートを張って参加者を待っていた。

9時半になると、文化行事が始まった。ミュージシャンの「きたがわてつ」さんが、「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、我らと我らの子孫のために、・・・ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。・・・」と日本国憲法前文を高らかに歌い上げる。



(上) 集会最後の団結ガンバロー

(下) 千代田実行委員会の参加者(一部)

### 労働組合の頑張りが生活を変え、軍拡・戦争への道を止める

10時になり式典が始まった。主催者を代表して、小畑全労連議長が挨拶。「新自由主義政策が続けられ、労働者の生活と権利はないがしろにされてきた。生活と権利の回復には、労働組合の役割は大きい。23春闘ではたたかう労働組合がストライキを構えて奮闘してきた。戦争か平和かの岐路に立つ今、大軍拡・大增税、改憲に反対して、幅広く労働者、市民との共闘でたたかうことが重要」と訴えた。

今年も日比谷メーデー（全労協中心）と連帯挨拶を交換し、共通のスローガンも作った。日比谷メーデー実行委員会の中島由美子さんが、「労働者が連帯し、権利を守り、平和とジェンダー平等を」と挨拶。

安全保障関連法に反対する学者の会の朝倉むつ子早稲田大学名誉教授は、「労働時間を短縮して、自由な時間を取り戻し、民主主義のために使ってほしい」と激励の挨拶。



デモ行進する千代田の隊列

11時20分にデモが出発。千代田実行委員会は、恵比寿コースの7番目。サッカー場を出て、NHK 協の公園内の通りを渋谷駅に向けて行進。車道に出てから渋谷駅手前を左に行き、JR 線路下道路を通過。渋谷駅東を通り、恵比寿駅までの2.5キロをデモ行進し、「物価高上回る賃上げを」「最低賃金1500円以上を」「大軍拡・大増税反対」「消費税減税・インボイス中止を」「改憲・戦争反対」などをアピールし行進した。

参加者は、中央集会全体で1万5000人、全国256か所でメーデーが開催された。千代田実行委員会の参加者は、約40人であった。

政党からは、日本共産党の志位委員長が「物価高を上回る賃上げを世界の労働者と団結して勝ち取ろう、消費税減税とインボイス制度の中止を、大軍拡・大増税をすすめ、平和・くらし・民主主義を破壊する岸田政権を打倒しよう」と訴えた。

2月に組合を結成し闘っている全印総連国際マイクロ写真工業社労組の加藤委員長、国立病院でストライキを打ってたたかった全医労の前園委員長がそれぞれ、労働者の生活改善に向けて岸田政権の悪政に反対したたかう決意を表明した。

最後に、参加者全員が力強く団結ガンバローと代々木公園に声を響かせた。

11時20分にデ



親子で恵比寿まで行進

## 5月3日 憲法集会

憲法ので新たな戦前にさせない 東京集会に2万5000人



参加者全員でプラカードアピール

憲法施行から76年目の5月3日、有明防災公園で憲法集会が開かれた。10時過ぎ頃、りんかい線の国際展示場駅に着いた。駅を出るとどなりがなり立てる音が聞こえ、騒然としている。駅前には、警官が多数ならんでいる。何かとあたりを見回すと、駅前広場に、社民党と新社会党が憲法について訴えている。そこに、20メートルくらい離れたところで、ハンドマイクで右翼のおっさんが脅し調子で妨害している。

右翼は今までは宣伝カーでがなり立てていたが、今回は、近くに迫って妨害していて、緊張した雰囲気である。

駅前です、時間をつぶして、会場の有明防災公園に向かう。入り口では、初めての参加だと思いがれいわ新選組の旗があった。

今回のメインステージは、入り口からかなり奥にある。会場は、労働組合産別や団体の旗が林立し、風に強くなびいているものの、11時時点、開会の2時間前では、参加者はまだ少ない。今日は、この会場がいっぱいになるのかなあと思いやる。

東京の参加者の場所は、メインステージから遠い後ろ、そこにシートを敷いて、開会を待つ。陽は照り、風がないと暑い。しかし、海からの風は吹き続けていて、暑さはさほど感じない。開会が近づくと、周りは参加者でほとんど埋まってきた。全体も埋まったようだ。発表では、昨年より、1万人も多い、2万5000人、参加者の密集具合で多いと感じる。東京の参加者も東京地評の加盟組合などや団体が多い。



横断幕を手に行進しアピール



旗を持って行進する茂呂区労協議長

### 「改憲させない、戦争させない」と決意新たに

午後1時から集会が始まった。主催者挨拶は、総がかり行動実行委員会共同代表の高田健さん。高齢だが、とても元気だ。「岸田政権は、敵基地攻撃能力を保有し、大軍拡で戦争の準備をしている。これは絶対阻止しなければならない。やるべきは平和の準備である。また、岸田首相の改憲を全国のたたかいで阻止しよう」と力強く訴えた。

政党からは、立憲民主党の西村代表代行、日本共産党の志位委員長、れいわ新選組の榎淵共同代表、社民党の福島党首が連帯挨拶。

それぞれの方々は、憲法記念日にあたって、共通して、「日本は、憲法9条をないがしろにし、大軍拡で戦争する国になろうとし、新たな戦前を作ろうとしている。これを止めなければならない。全国的に団結してたたかおう」と訴えた。

また、室蘭工業大学教授の清水愛砂さんは、「新たな戦前は人々の小さな幸せを否定する流れである。止めるために人々のつながりを広げよう」、新潟市民連合の佐々木寛さんは、「岸田政権は、憲法を無視し、戦争しようとしている。非暴力で抑え込もう」、沖縄大学の泉川友樹さんは、「中国脅威論をなくし、沖縄を新たな冷戦を終結する島にしたい」、漫画家の東村アキコさんは、「今、言わなければならない。軍拡反対」と挨拶。最後に、総がかり行動実行委員会の小田川義和さんが「政府は、大軍拡は憲法の範囲内という。その嘘を知らせ、新たな戦前にさせないよう、全国で取り組もう」と閉会の挨拶を行った。

集会には千代田区春闘関係の参加者が20人位参加していたと思われる。

集会後、ゆりかもめの青海駅の先までの2キロをデモ行進した。参加者が多かったのでデモが会場から出るのに1時間かかり、行進に1時間かかったが、最後まで元気よくシュプレヒコールしながら皆歩いた。

途中の沿道では、激励の手振りもあったが、ここでも右翼がハンドマイクでがなり立てて妨害をしていた。敵側も必死なのだと感じ、新たな戦前にさせない、戦争絶対反対で奮闘することを改めて感じる一日となった。(千代田区労協事務局長 小林秀治) ※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

\* 千代田区労協通信バックナンバー / [http://www.chyda-kr.org/kuroukyou\\_news2020.htm](http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2020.htm)